

《講演者プロフィール》

○ サミュエル・M. コーエン (Samuel M. Cohen, M.D., Ph.D.)

ネブラスカ大学メディカルセンター病理学・微生物部教授

ウィスコンシン大学マディソン校卒。腫瘍学専攻。医学博士。

専門は、発がん性化学物質、毒性学、リスク評価、外科病理学、泌尿器病理学等多岐にわたる。

特に、発がん性物質の動物実験をどのように人間に外挿すべきか、膀胱等をモデル器官とし、多くの研究を行っている。げっ歯類の実験結果の外挿について、有用性の分析を行ったサッカリンのリスク評価等は特に有名である。受賞、著書多数。

○ 福島 昭治 (ふくしま・しょうじ)

食品安全委員会添加物専門調査会座長、中央労働災害防止協会日本バイオアクセス研究センター所長

名古屋市立大学医学部卒。医学博士。

大阪市立大学大学院医学研究科長兼医学部長、都市環境病理学教授等を経て現職。化学物質の発がん性、特にリスク評価を研究領域とし、発がん物質の閾値、ヒト発がん物質ヒ素の実験的証明等を研究。実験的膀胱発がん及び膀胱病理についても研究、著書多数。